

金沢大学角間遺跡・一乗寺跡の発掘

佐々木 花江・岩田 安之

はじめに

金沢大学角間遺跡は、一乗寺跡と第2調整池南の2地点からなる。一乗寺跡地点は学生寮建設工事のため、平成8（1996）年11月26日に発掘調査を開始した。工事変更に伴い、平成9（1997）年12月26日で調査を中断し、埋め戻しをした。一乗寺跡は平安時代の寺院跡と考えられ、寺や一乗と墨で書かれた土器が出土している。

一乗寺跡地点と小さな谷を隔てた丘陵の南斜面にある第2調整池南地点からは、縄文時代と平安時代の遺構が見つかった。縄文時代の短期滞在跡とみられる遺構や、壊れた土器をまとめて捨てた場所が見つかった。平安時代の遺構は、一乗寺跡と同時期のものである。墓の可能性のある溝に囲まれた穴や柵列、直径30cmもある柱を立てた跡、土師器を集中的に廃棄した遺構が確認されている。

角間遺跡に関連する資料として、第1図、第1,2表、文献目録を掲載した。

1. 遺跡の位置と地理的環境

金沢大学角間遺跡一乗寺跡地点は、浅野川河岸段丘に張り出した丘陵先端部にある。同じ丘陵の別な尾根筋南斜面には第2調整池南地点があり、南東に医王山を望み、南正面には倉ヶ岳が望める。丘陵の裾は「二俣越え」と称された富山市坂本へ続く街道である。

2. 周辺の遺跡

金沢大学角間遺跡周辺には、角間キャンパス内乾場山遺跡（縄文時代晩期・古代）、角間町角間川遺跡（縄文時代早期・中期）、若松マキノ遺跡（縄文・古代・中世）、田上遺跡（縄文早期・晩期、弥生～古代・中世）がある。また、浅野川対岸には須恵器を生産した末窯跡群がある。

3. 遺構

掘立柱建物が、4－5軒あったことがわかった。建物内の炉跡周辺から、「寺」墨書の内黒土師器碗、白磁碗、土師器、須恵器、砥石などが出土した。瓦を全く出土しないことから、瓦葺ではないと推定される。

3箇所柱穴列が認められるが、部分的なものであり、土留め程度のものか柵列であるのか、その性格は不明である。

竈状遺構が2基発見され、竈内部及び周辺から焼土や炭化物が認められた。1基の竈本体内部と周辺から鉄滓も少量見ついている。近くの廃棄層から鞆の羽口が1点、発見されている。

4. 遺物

土師器、須恵器が主に出土した。多くは破片であるが、土師器は12340点（有台碗、無台碗、皿、鉢、鉄鉢形土師器、小皿、耳皿、長甕、小甕、塙、高坏）で、須恵器は666点（有台坏・碗、無台碗、有台皿、無台皿、蓋、長頸瓶、双耳瓶、水瓶、短頸壺）である。「一乗」「寺」の墨書のある内黒土師器碗が7点出土している。遺物は9世紀後半から12世紀前半頃までのものが主に出土しているが、6世紀末

から7世紀初頭に遡ると思われる須恵器も1点出土した。9世紀末の越州窯系青磁水注が一点出土している。中国製玉縁白磁碗は8点出土し、2個体以上あったのがわかる。また、13世紀末頃の龍泉窯系青磁碗口縁部片が出土している。

国産の施釉陶器では灰釉陶器が8片、また京都洛北産の緑釉陶器細片が1点出土している。

他には鉄製品（釘・刀子など）、鉄滓、鞆羽口、砥石や石錐など石製品などが出土した。

縄文時代の中期の土器や少量の石器も発見された。

5. まとめ

当地点の遺物の主体は、9世紀後半～10世紀初頭と11世紀後半～12世紀前半に属するものが中心であると推定される。その他の時代の遺物は縄文時代中期、古墳時代（6世紀末～7世紀初）、中世（13-14世紀）が確認されているが、量は少ない。

「寺」「一乗」と墨書された土師器碗から、寺院跡であると推測できる。現在通称「イチョウジ」と呼ばれており、「一乗寺」であったと推測される。

谷を挟んだ南方の尾根の南斜面に、一乗寺と同時期である金沢大学角間第2調整池南地点がある。周溝を持つ土坑が発見された。柱穴が多数この土坑の周辺に認められ、関連が問われる。また、土師器、須恵器、石帯、ビーズなど多数の遺物が集中している。遺跡からは山岳信仰の霊山と言われる倉ヶ岳を正面に望む。遺物から一乗寺と同時期の遺跡とみられ、山間寺院としての一乗寺との関連、また北陸では珍しい周溝を持つ土坑の性格が注目される。

文献

石川県教育委員会

1980 『石川県遺跡地図』

金沢市教育委員会

1991 『金沢市遺跡地図(改訂版)』

金沢大学総合移転実施特別委員会・遺跡調査委員会

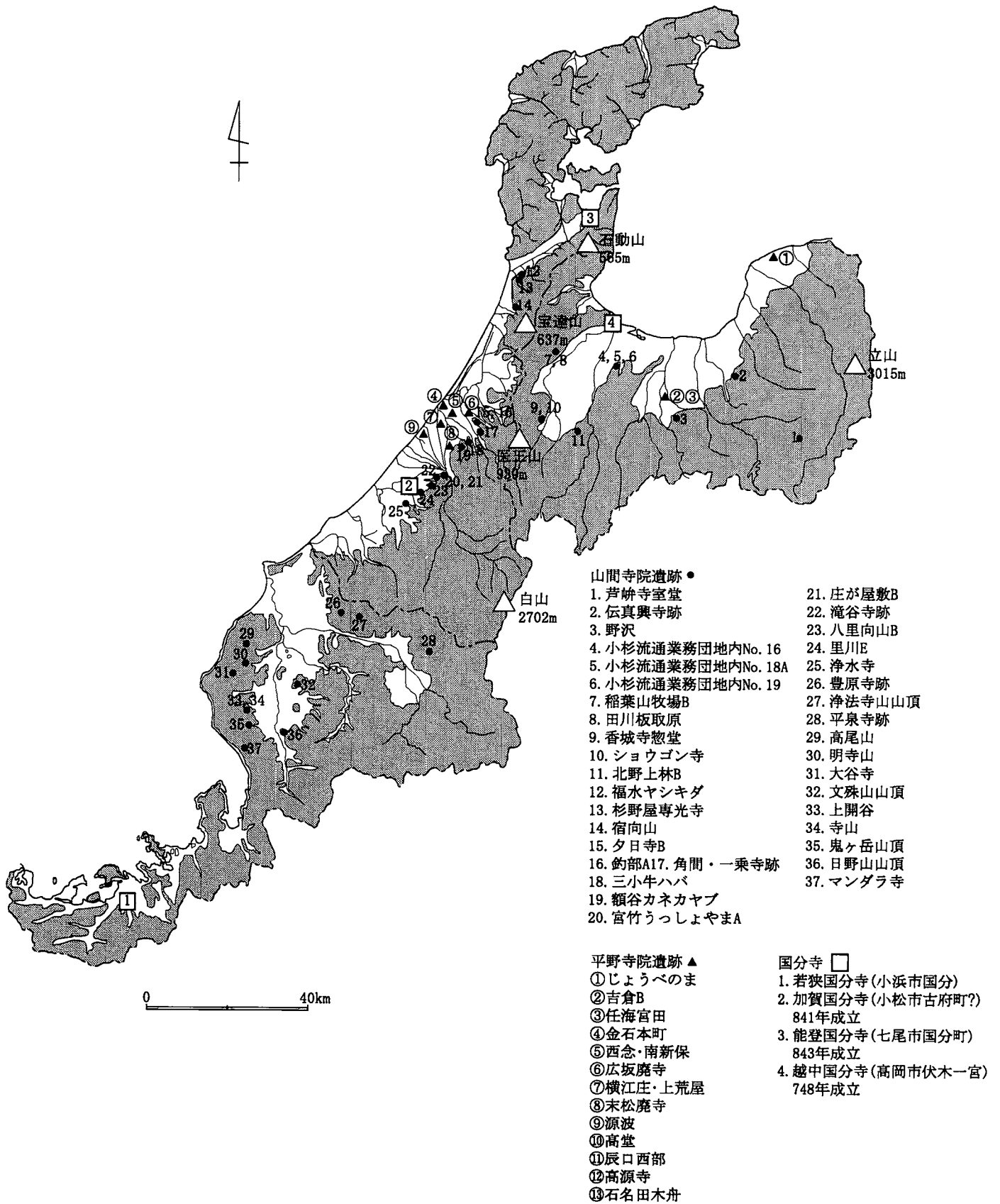
1989 『角間 金沢大学総合移転用地内埋蔵文化財調査報告』

久保 智康

1998 「北陸の山岳寺院（Ⅱ）－古代越前の動向を中心に－」『考古学ジャーナル』426: 22-27

佐々木 達夫・中村 慎一・岩田 安之・湯尻 修平

1995 「金沢大学総合移転第Ⅱ期計画地内埋蔵文化財調査報告・1995年3月」『金沢大学考古学紀要』第22号 237-259



第1図 山間寺院遺跡及び関連遺跡位置図

第1表 山間寺院遺跡と関連遺跡

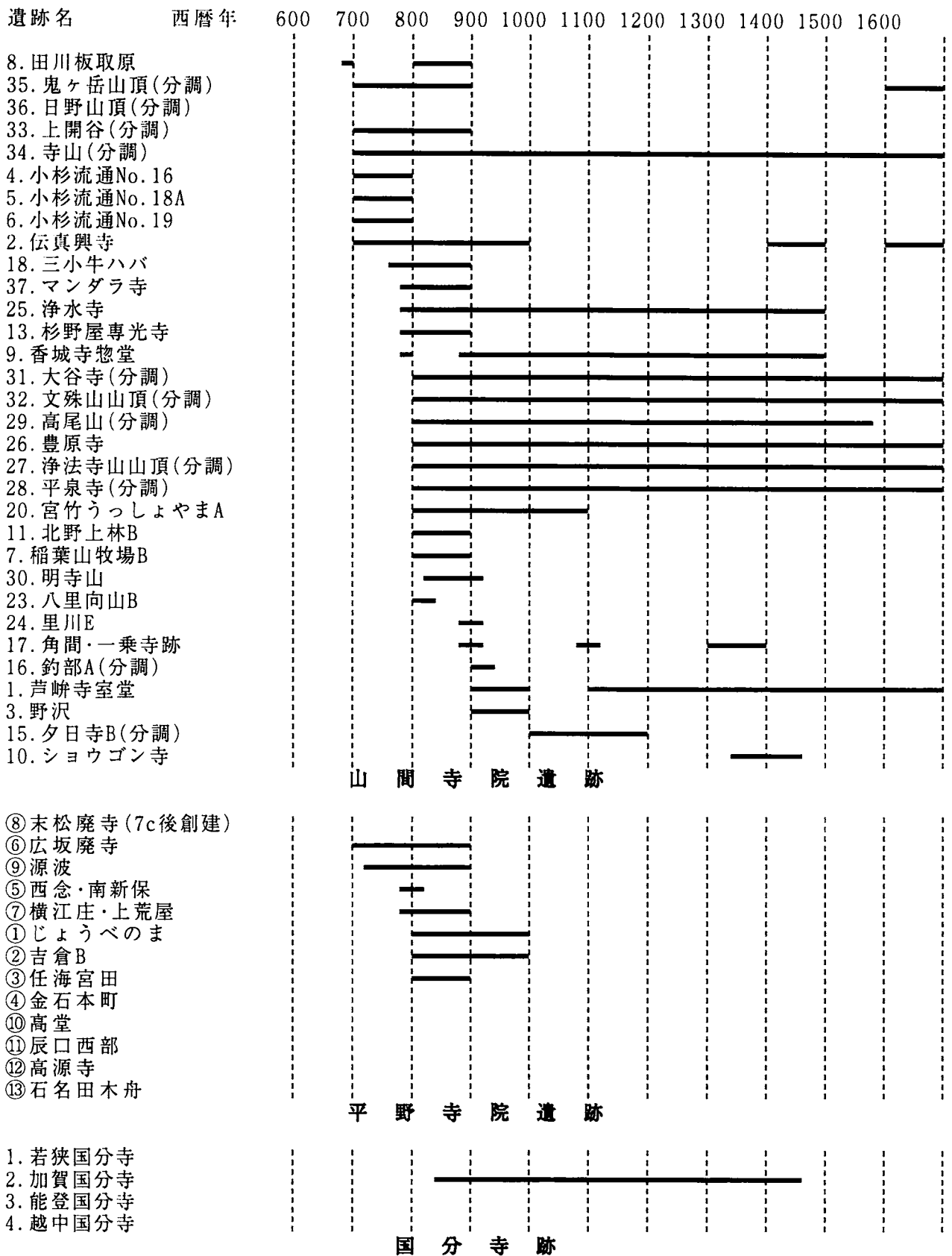
番号	遺跡名	所在	調査機関	調査年	文種	出土遺構	出土遺物	発掘土器など	時期	立地	標高	備考
1	芦峯寺堂遺跡	立山町芦峯寺			6	土坑、礎石建物	須恵器、和鏡、懸仏		10、12世紀-江戸	山地	2446m	
2	伝真興寺跡	中新川郡上市町			2	平坦面、礎石建物、門、池	須恵器、土師皿、珠洲、越中瀬戸、唐津、伊万里		8-10世紀、15世紀、江戸	丘陵	125m	
3	野沢遺跡	上新川郡大沢野町			5	竪穴住居、掘立柱建物	和鏡		10世紀	段丘	115m	
4	小杉流通業務団地内No.16遺跡	射水郡小杉町	富山県埋文		1, 27	平坦面、掘立柱建物、須恵器窯	印仏、台座、陶製印章、円面硯、舟形、鳥形、土馬、漆容器	「小橋寺」、へら書き「大夫」「秦人」	8世紀	丘陵	22m	
5	小杉流通業務団地内No.18A遺跡	射水郡小杉町			2	竪穴住居、土師器焼成窯		「優塞」か	8世紀	丘陵	14-23m	
6	小杉流通業務団地内No.19遺跡	射水郡小杉町			3	竪穴住居、掘立柱建物	相輪		8世紀	丘陵	21m	
7	稲葉山牧場B遺跡	小矢部市田川				掘立柱建物	鉄滓		9世紀	段丘	340m	
8	田川板取原遺跡	小矢部市田川				平坦面	灯明須恵器坏		7世紀末、9世紀	丘陵	170-180m	
9	香城寺惣堂遺跡	西砺波郡福光町	医王山調査委		7	平坦面、礎石建物、土坑、方形石組、小型方形石組墓、集石墓、池	土師器、須恵器、灰釉陶器、珠洲、常滑、加賀、青白磁、瀬戸、瓦器、鉄製品、転用硯		8末、9世紀末-12世紀初、12中-15世紀	丘陵	246-251m	
10	ショウゴン寺遺跡	西砺波郡福光町			7	平坦面、礎石建物、土塁、門、方形石組、池	土師皿、珠洲		14中-15世紀中	丘陵	216-225m	
11	北野上林B遺跡	東砺波郡城端町・井口村			4	平坦面	台座		9世紀	丘陵	220m	
12	福水ヤシキタ遺跡	石川県羽咋市福光町	櫻井甚一他	1971	26	井戸（闕加井）	三鈷鏡1、錫杖頭2、銅椀3					石動山と宝達山のほぼ中間に位置する
13	杉野屋専光寺遺跡	石川県羽咋郡志雄町	志雄町教委		25	井戸・溝	須恵器鉄鉢、広口壺、水瓶、灯明坏、軒丸瓦	「東院寺」「東寺」「寺鉢」「岡本」「守」「得女」	8後-9世紀後			
14	宿向山遺跡	石川県羽咋郡押水町宿	石川県埋文		24		須恵器鉄鉢、広口壺、多口瓶、灰釉小瓶、土師器台付鉢、広口壺、脚付香炉、黒色三足盤、灰釉椀、転用灯明坏			丘陵斜面	40m	「テラヤシキ」
15	夕日寺B遺跡	石川県金沢市夕日寺町	岡本、山下、松山	1984、1991分調	20、21		土師器、須恵器、釘		11・12世紀	尾根上	約150m	
16	釣部A遺跡	石川県金沢市釣部町		1992年分調	22	平坦面3段	灰釉陶器、須恵器、土師器		10世紀前	丘陵斜面	160-170m	
17	角間遺跡・一乗寺跡	石川県金沢市角間町	金沢大学埋文	1996-1997	23	掘立柱建物・礎石・炉跡など	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、越州窯系青磁水注、緑釉陶器、龍泉窯系陶器、白磁、鉄製品、銅製品、石製品、籬羽口	「寺」「一乗」	9後-10世紀初、11後-12世紀前	丘陵先端斜面	100-110m	「イチョウジ」の口承

第1表 山間寺院遺跡と関連遺跡

番号	遺跡名	所在	調査機関	調査年	文献	出土遺構	出土遺物	発掘土器存在	時期	立地	標高	備考
18	三小牛ハバ遺跡	石川県金沢市三小牛町	金沢市教委		19	掘立柱建物12・ 竪穴建物4・土坑・溝	銅板鑄出仏、奈良三彩壺、須恵器鉄鉢、水瓶、暗文赤彩鉢、土師器脚付香炉、灯明坏、布目瓦、木製品、転用硯	「三千寺」 「沙弥古万呂」則天文字「人」	8中-9世紀末			
19	額谷カネカヤブ遺跡	石川県	金沢市教委		28					丘陵地	約50m	
20	宮竹うっしょやまA遺跡	石川県石川郡辰口町宮竹	石川県埋文	1995	30	五山石・掘立柱建物・石垣・土坑	須恵器・土師器・鉄鉢・転用硯	「大坂寺」	9世紀～11世紀後半	丘陵上	約110m	
21	庄が屋敷B遺跡	石川県	石川県埋文		29	掘立柱建物	須恵器鉄鉢、水瓶			丘陵尾根上	約100m	
22	滝谷寺跡	石川県石川郡辰口町長滝	石川県埋文	1988	能美丘陵東遺跡群(概要)	礎石建物				丘陵上	約120m	
23	八里向山B遺跡	石川県小松市上八里	小松市教委	1993-1994	17	礎石建物・掘立柱建物	三彩小壺・土師器灯明杯		9世紀前半	丘陵上	約20m	
24	里川E遺跡	石川県小松市里川町	小松市教委	1991	16	礎石建物1・掘立柱建物2	須恵器・土師器・鉄釘		9後-10世紀初	丘陵上	約30m	
25	浄水寺遺跡	石川県小松市八幡町	石川県埋文		13, 14, 15	掘立柱建物・礎石建物・池・室・木組井戸・土坑・参道・土器埋納穴	平安時代:須恵器,土師器,緑釉陶器,灰釉陶器,墨書土器,戯画土器,石帯,瓦,陶硯,木造僧形像(高さ8.3cm),板絵,金銅製品,仏具,白磁,越州窯青磁輪花坏,長沙銅官窯水注,銅鉢,他 鎌倉・室町時代:青磁,白磁,瀬戸焼,珠洲焼,越前焼,加賀古陶,土師質土器,瓦質土器,鉄棒,釘,銅銭,行火,温石,砥石,石造遺物,他	「浄水寺」 「中,南,前」「室,房」「厨」「倉」「珎」「富」「吉」「集」「来」「珎来」「重珎」「天富」「吉来」「大	8後-15世紀後	丘陵南斜面	約60m	
26	豊原寺跡	福井県坂井郡丸岡町豊原	丸岡町教委	1979-1983	31	掘立柱建物	須恵器・土師器・灰釉陶器		9世紀-近世	山間地	150-250m	
27	浄法寺山山頂遺跡	福井県吉田郡永平寺町浄法寺		分調	32		銅鏡・須恵器・土師器		9世紀-近世	山頂	1052m	
28	平泉寺跡	福井県勝山市平泉寺	勝山市教委	分調	33		須恵器・土師器		9世紀-近世	山間地	250-350m	
29	高尾山遺跡	福井県福井市本堂町		分調	34		須恵器・土師器		9(?)世紀-中世	山頂直下の平坦地	約400m	

第1表 山間寺院遺跡と関連遺跡

番 号	遺跡名	所在	調査機 関	調査年	文献	出土遺構	出土遺物	出土土器な ど	時期	立地	標高	備考
30	明寺山遺跡	福井県清水町 大森町	清水町 教委	1981・ 1982・ 1994	12	基壇状建物1,掘 立柱建物3,配石 遺構3,壇状遺構 4,小鍛冶炉跡1	緑釉壺・須恵器鉄鉢・水瓶・広口鉢・灯明杯・瓦 塔・水晶小玉・転用硯	「寺」「目 丸」	9第2四半 期-10世紀 前後	丘陵上	66m	
31	大谷寺遺跡	福井県丹生郡 朝日町大谷寺		1998- 2001分 調	35		須恵器・土師器		9世紀-近 世	山間地 一帯	100- 220m	
32	文殊山山頂遺跡	福井県福井市 文殊町		分調	34		須恵器	「寺」	9世紀-近 世	山頂北 側緩斜 面	365m	
33	上開谷遺跡	福井県丹生郡 宮崎村開谷		分調	36		須恵器鉄鉢		8世紀-9世 紀	尾根上 緩斜面	約180m	
34	寺山遺跡群	福井県丹生郡 宮崎村開谷・ 寺		分調	36		須恵器・土師器		8・9世紀- 近世	山間地 一帯	50-60m	
35	鬼ヶ岳山頂遺跡	福井県武生市 大虫町		分調	37		須恵器		8-9世紀、 近世	山頂	533m	
36	日野山山頂遺跡	福井県武生市 中平吹町		分調	37		須恵器		平安-近世	山頂	794m	
37	マンガラ寺遺跡	福井県南条郡 河野村河野	河野村 教委・ 福井県 博	1988・ 1989・ 1994	38	掘立柱建物	土師器・須恵器浄瓶・須恵器鉄鉢・須恵器小瓶		8末-10世 紀	尾根上	約340m	
	如意寺					礎石建物,石段	土師器,須恵器,緑釉陶器,灰釉陶器,青磁,白磁					
①	じょうべのま遺 跡	下新川郡入善 町			9	掘立柱建物,井戸		「□寺」	9-10世紀 初	扇状地	5m	
②	吉倉B遺跡	富山市吉倉			10	掘立柱建物		「柴寺」か	9-10世紀 初	扇状地	35m	
③	任海宮田遺跡	富山市任海			11	掘立柱建物		「観音寺」 「墓田」	9世紀	扇状地	30m	

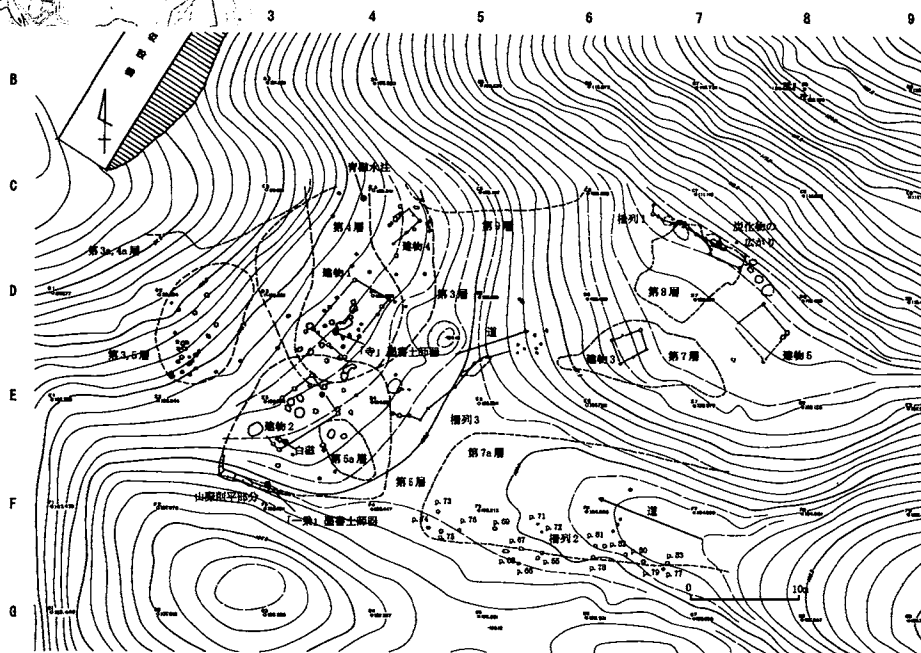
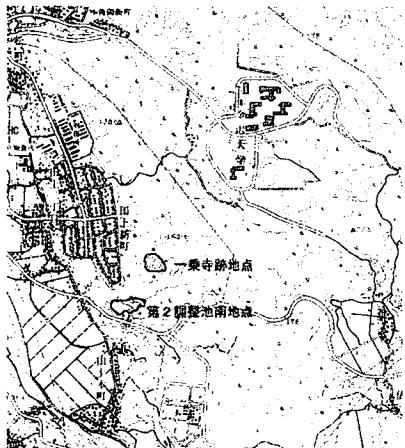


第2表 山間寺院遺跡・関連遺跡消長表

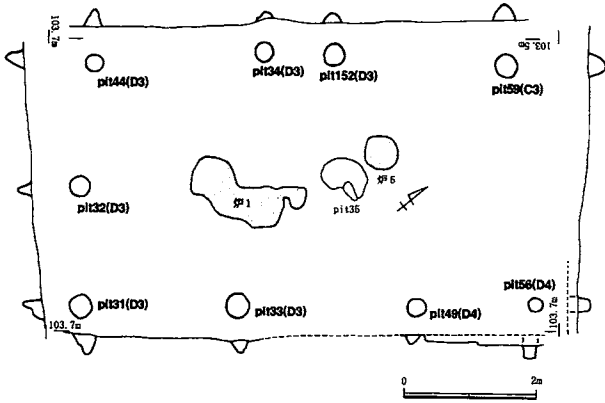
文献

1. 富山県教育委員会 1984 『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第6次緊急発掘調査概要』
2. 富山県埋蔵文化財センター 1993 『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第10・11次発掘調査概要』
3. 富山県教育委員会 1986 『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第8次緊急発掘調査概要』
4. 井口村 1992 『井口村史下巻 資料編』
5. 大沢野町教育委員会 1981 『富山県大沢野町野沢遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
6. 富山大学人文学部考古学研究室・立山町教育委員会 1994 『芦峯寺室堂遺跡』
7. 富山県福光町・医王山文化調査委員会 1993 『医王山文化調査報告書 医王は語る』
8. 上市町教育委員会 2000 『富山県上市町黒川上山古墓群発掘調査第5次調査概報 伝承 真興寺跡』
9. 富山県教育委員会 1974 『富山県埋蔵文化財調査報告Ⅲ』
10. 富山県埋蔵文化財センター 1994 『富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告(四)吉倉B遺跡』
11. 富山市考古資料館 1997 『富山市の古代文字』館報第32号 富山市教育委員会
12. 清水町教育委員会 1998 『越前・明寺山廃寺』
13. 石川県立埋蔵文化財センター 1989 『浄水寺墨書資料』
14. 垣内光次郎 1986 「野帳より」『加能史料研究』第2号
15. 垣内光次郎 1985 「小松市浄水寺遺跡発掘調査の概要」『拓影』第17号
16. 小松市埋蔵文化財調査だより 1993 第3号
17. 小松市埋蔵文化財調査だより 1996 第6号
18. 石川県立埋蔵文化財センター 1996 『能美丘陵東遺跡群』
19. 金沢市教育委員会 1994 『三小牛ハバ遺跡』
20. 岡本 晃 1984 「夕日寺B遺跡出土遺物」『石川考古』第156号
21. 山下 智・松山和彦 1991 「金沢市夕日寺B遺跡(ドウヤシキ)の再評価」『石川考古』第207号
22. 松山和彦・小阪 大 1992 「金沢市釣部町の古代遺跡について」『石川考古』第209号
23. 金沢大学埋蔵文化財調査センター 1999 『金沢大学文化財学研究』I
24. 石川県立埋蔵文化財センター 1987 『宿向山遺跡』
25. 志雄町教育委員会 1998 『杉野屋専光寺遺跡』
26. 櫻井甚一 1983 「福水出土の古密教仏具からみた能登の山林宗教考」『北陸の考古学』
27. 富山県埋蔵文化財センター 1980 『小杉流通業務団地内遺跡群』
28. 金沢市教育委員会 1995 『金沢市額谷カネカヤブ遺跡』
29. 石川県立埋蔵文化財センター 1993 『能美丘陵東遺跡群』I
30. 石川県立埋蔵文化財センター 1998 『能美丘陵東遺跡群』Ⅲ
31. 小野正敏 1986 「豊原寺」『福井県史 資料編13考古』
32. 久保智康 1986 「古鏡の美—出土鏡を中心に—」『福井県立博物館』
33. 勝山市教育委員会1990~94 『白山平泉寺発掘調査概報』
34. 久保智康 1997 「古代の信仰と寺院」『福井市史 通史編1』
35. 国堀大介 1999 「福井県大谷寺遺跡の成立に関する一考察」『文化史学』55
36. 久保智康 1991 「古代越前の山中寺院」『ふくいミュージアム』19号
37. 久保智康 1999 「国府をめぐる山林寺院の展開—越前・加賀の場合」『朝日百科日本の国宝別冊 国宝と歴史の旅3 神護寺薬師如来像の世界』朝日新聞社
38. 久保智康 1990 「マンダラ寺遺跡」『平成元年度発掘調査報告会資料』

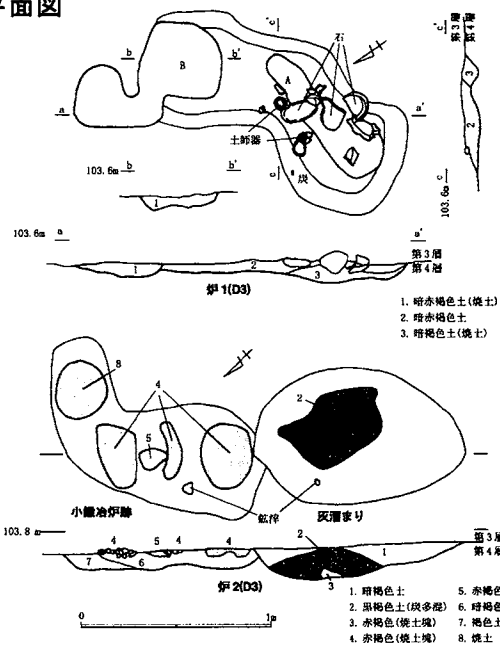
第2図 金沢大学角間遺跡一乗寺跡地点と第2調整池南地点



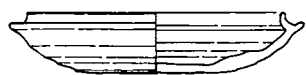
第3図 一乗寺跡地点平面図



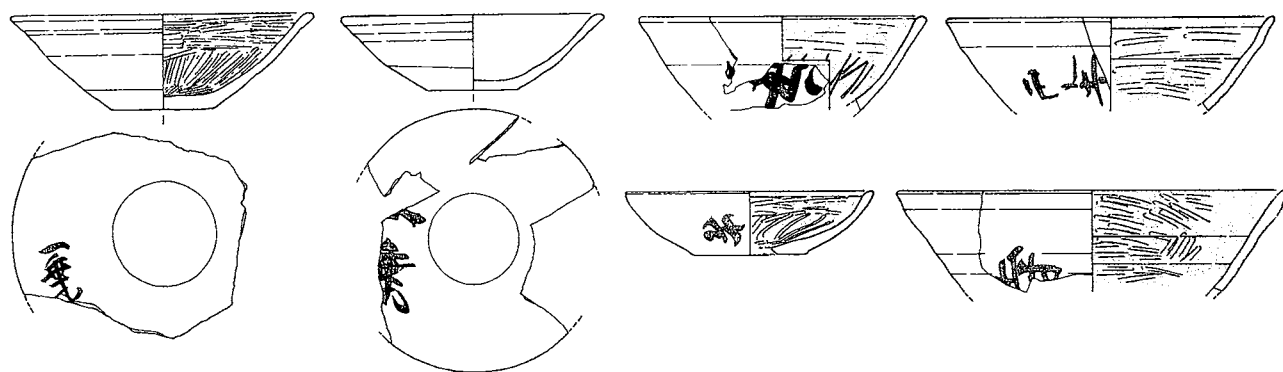
第4図 建物1



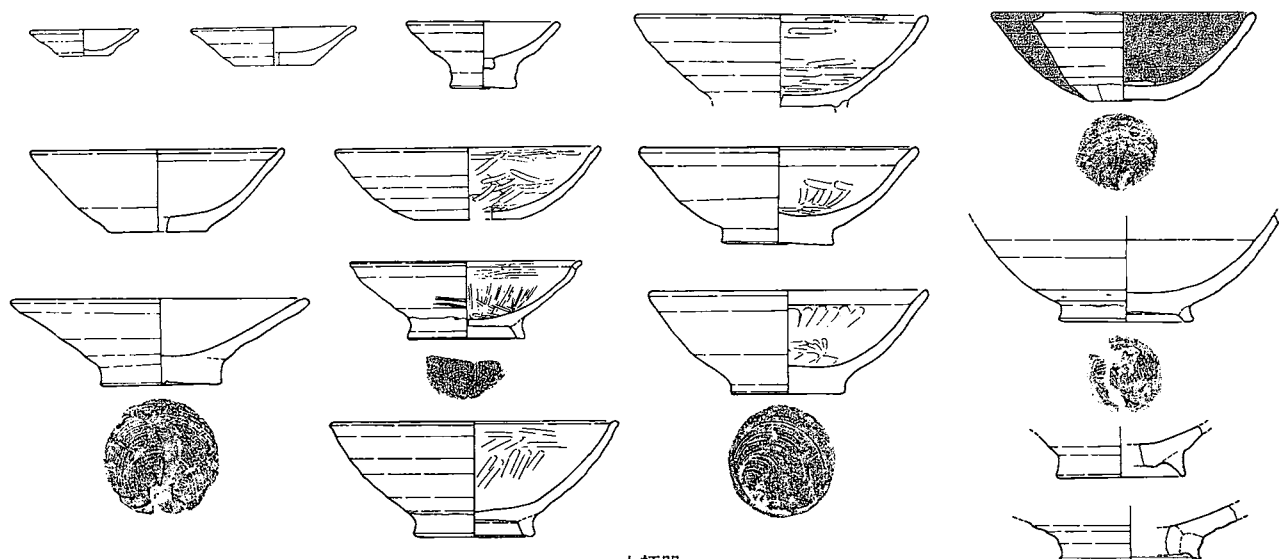
第5図 炉跡



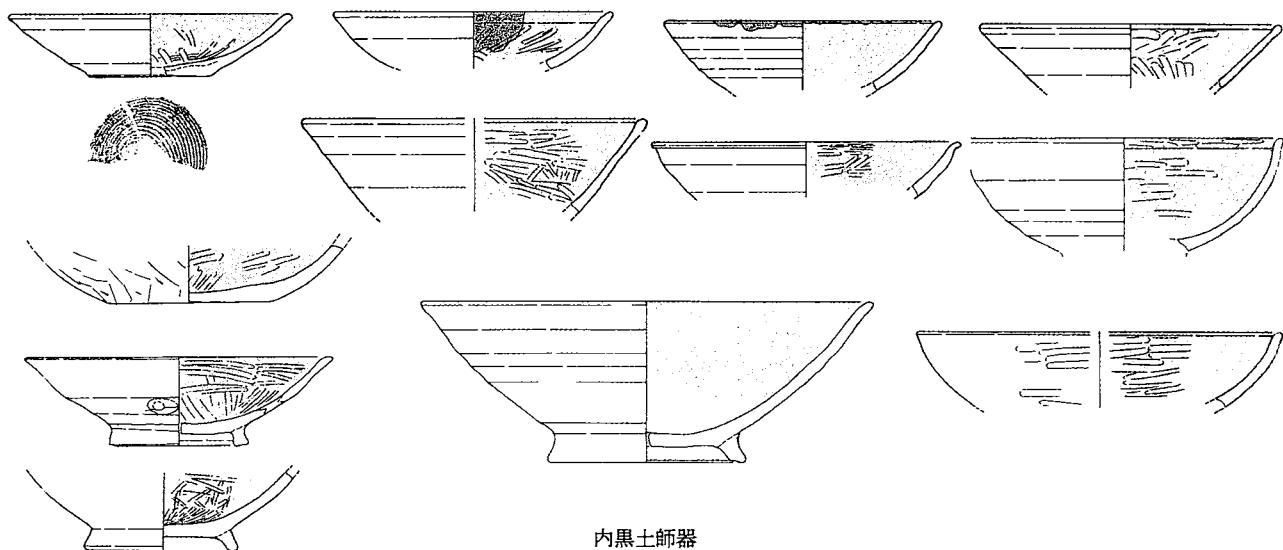
須恵器(古墳時代)



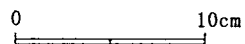
墨書土師器



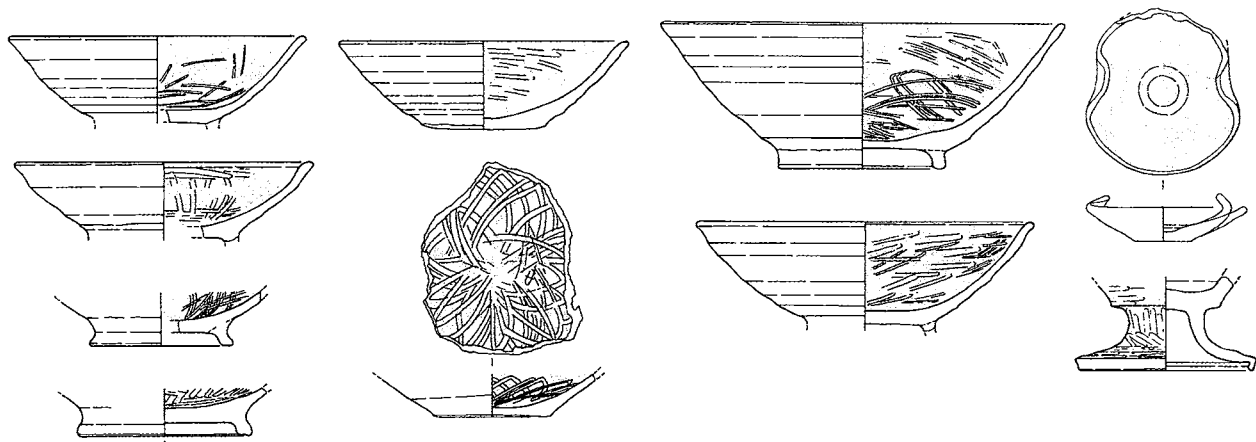
土師器



内黒土師器



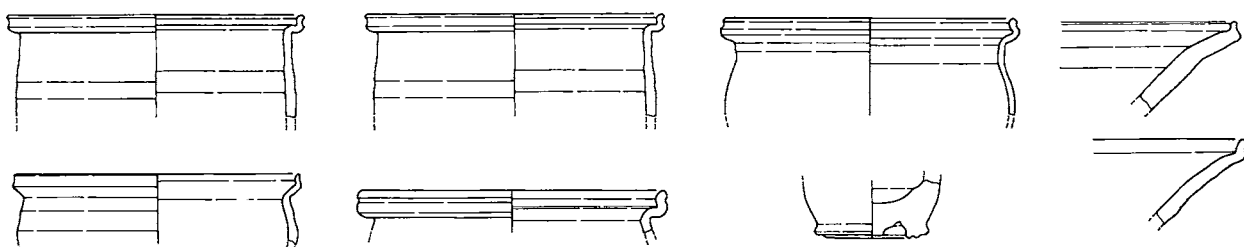
第6図 金沢大学角間遺跡一乗寺跡地点出土遺物1 (1/4)



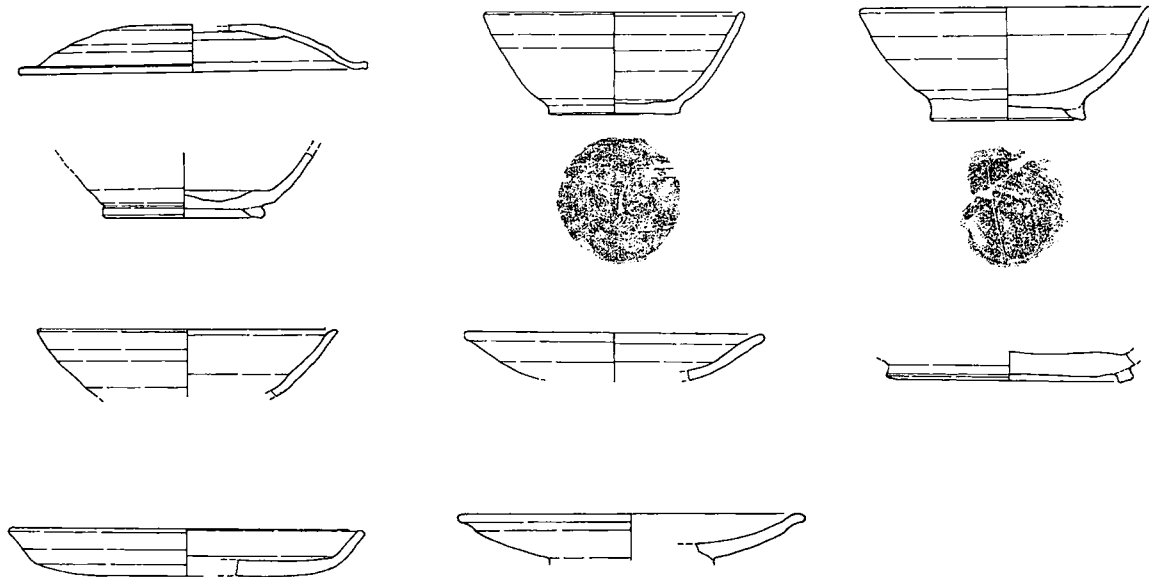
内黒土師器



内外黒土師器



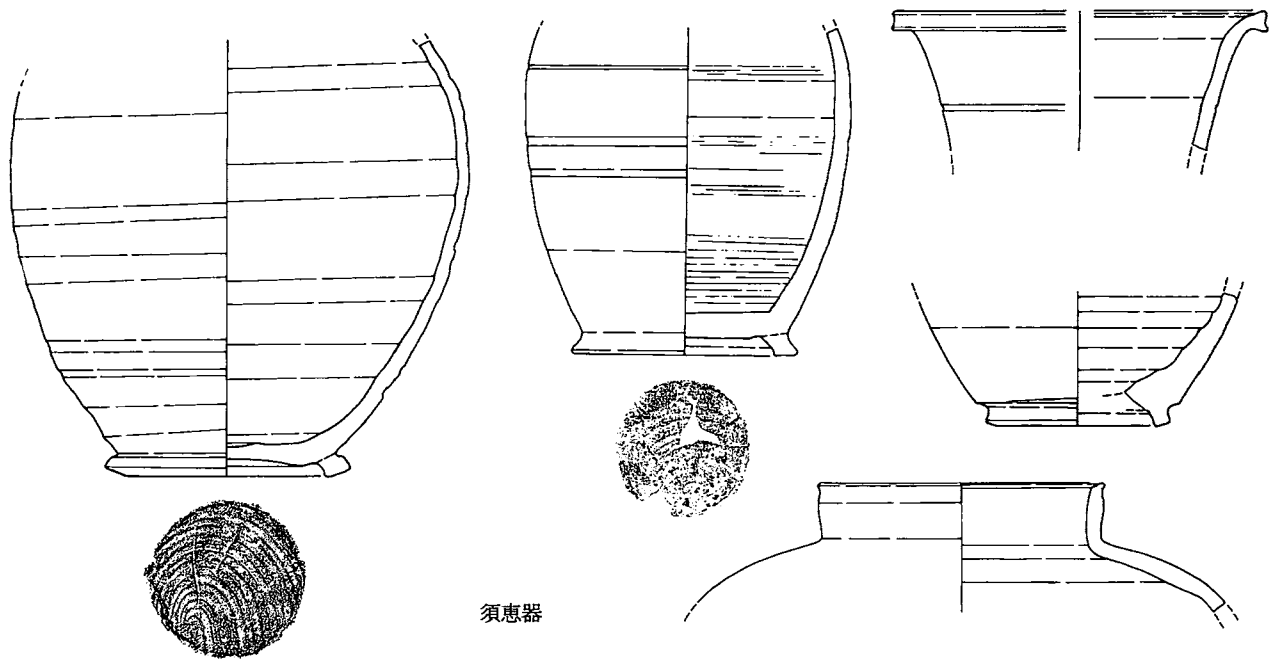
土師器甕・鍋



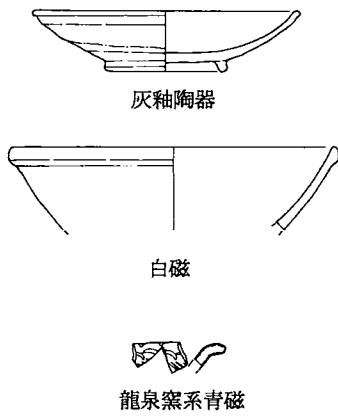
須恵器



第7図 金沢大学角間遺跡一乗寺跡地点出土遺物2 (1/4)



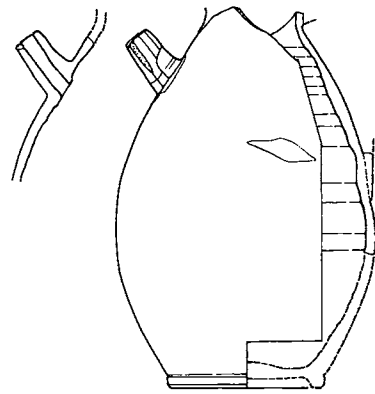
須恵器



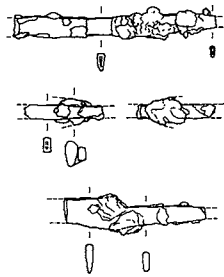
灰釉陶器

白磁

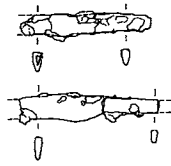
龍泉窯系青磁



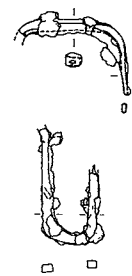
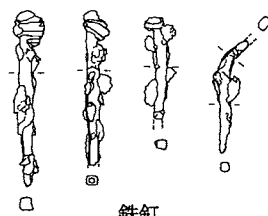
越州窯系青磁水注



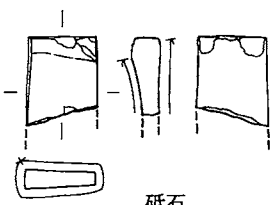
鉄刀子



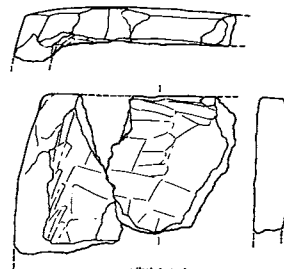
鉄釘



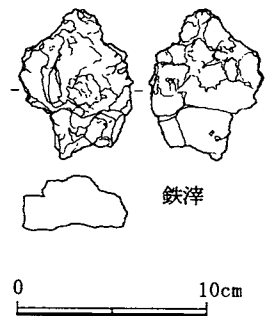
韃羽口



砥石



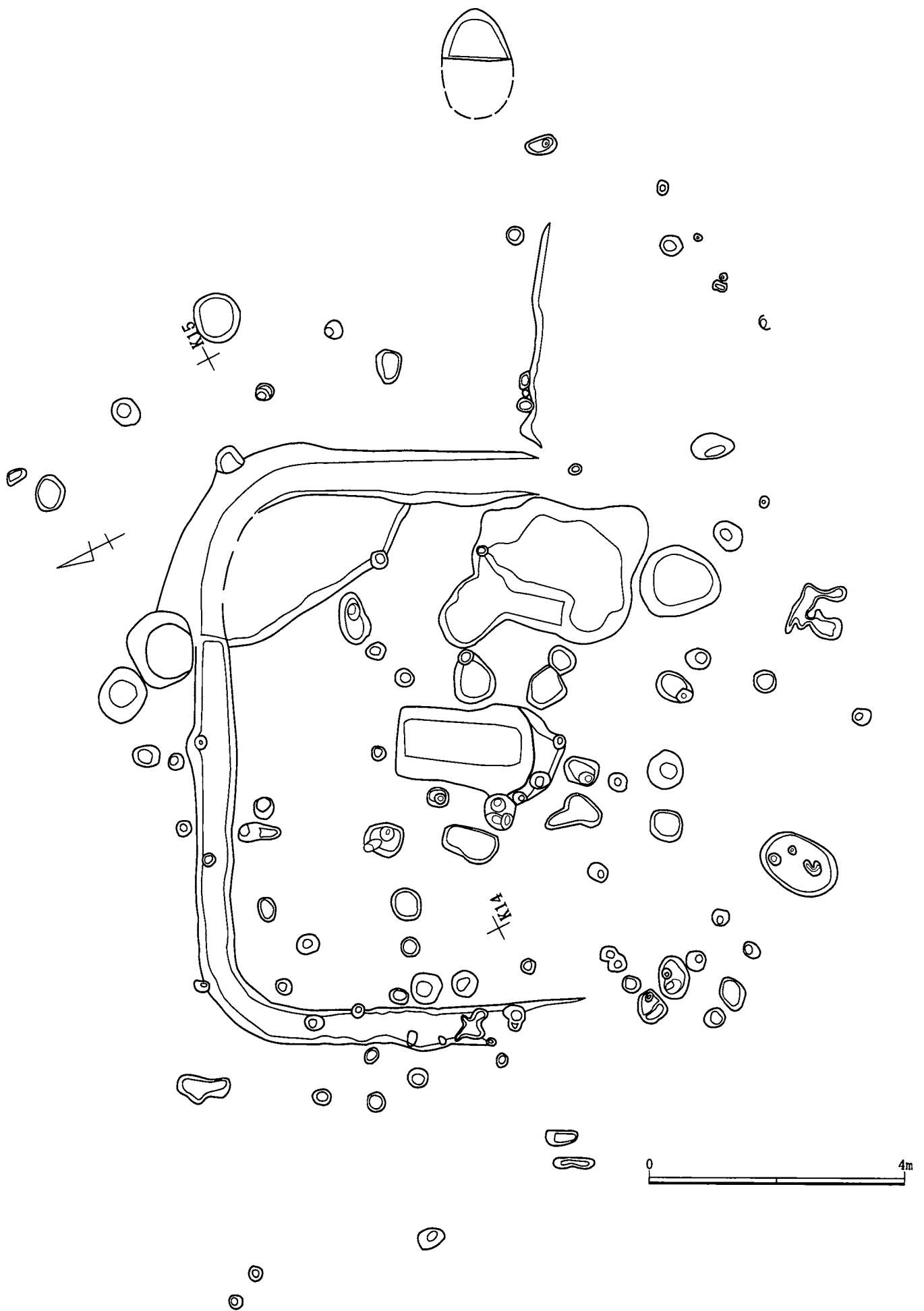
石製行火



鉄滓

0 10cm

第8図 金沢大学角間遺跡一乗寺跡地点出土遺物3 (1/4)



第9図 金沢大学角間遺跡第2調整池南地点方形周溝状遺構 (1/80)